



# 2012・冬 県機関版

賢く節電♪ Challenge マイナス5%!

## 節電・省エネアクションメニュー

### 重点アクション



- JIS に準じた照度を設定し、不要な照明の消灯の徹底
- 室温が19℃になるよう暖房温度の設定
- OA 機器等の不使用時のプラグ抜き



#### 【すぐできるアクション】

節電・省エネメニュー		効果を高める取組など	節減効果
照明	不要な照明の消灯・間引きの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ノー残業デーの一斉消灯の徹底</li> <li>○JIS に準じた照度（事務室 500 ルクス程度）の設定</li> <li>○廊下・エレベータホールおよびコピー室の照明を間引き</li> <li>○事務室やトイレの使用していないエリアの一部消灯</li> <li>○自動販売機内の蛍光灯の消灯</li> </ul>	8% 3%
空調	室温が 19℃となるよう設定温度の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>○温度計による室温の把握と適切な温度管理（19℃）3℃下げた場合</li> <li>○室内 CO2 濃度を調整し、外気取込量を削減</li> <li>○使用していないエリア（会議室等）の空調停止</li> <li>○ブラインド、カーテンの活用による放熱防止</li> <li>○フィルターの清掃</li> <li>○空調機器の一斉の起動を避ける</li> </ul>	4% 4% 1%
OA 機器等	電源の OFF プラグ抜き	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長時間、席を離れるときは、OA 機器の電源を切るか、スタンバイモードに。</li> <li>○ディスプレイの明るさを下げる。（輝度を 40%）</li> <li>○退庁時や昼食時のプラグ抜き</li> <li>○省電力 OA 機器（パソコン、コピー機）の導入</li> </ul>	23% 2%
動力等	ムダをなくす	<ul style="list-style-type: none"> <li>○暖房便座は保温の設定温度を下げ、不使用時にはふたを閉める。</li> <li>○エレベーターの運転台数の制限</li> <li>○電気ポット、コーヒーメーカーの停止</li> <li>○冷蔵庫の設定温度「弱」又は使用停止</li> </ul>	33~38%
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職場内での省エネアイデアの提案および実践、一人1節電（一人ひとりが自分でできる節電を最低ひとつ決めて実行）</li> <li>○ノー残業デー（定時退庁日）の徹底、有給休暇の計画的な取得励行</li> <li>○ウォームビズの推進（保温性の高い「機能性素材」の服を着用したり、ひざ掛けなどを活用し、過度に暖房機器に頼らない。）</li> <li>○省エネシールの活用（省エネ啓発用グッズの活用で省エネ活動の推進）</li> </ul>		

#### 【ステップアップアクション】

節電・省エネメニュー		効果を高める取組など	節減効果
照明	省エネ機器等の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○従来型蛍光灯を高効率蛍光灯やLED照明に交換（従来型蛍光灯⇒Hf 蛍光灯又は直管型 LED 照明）</li> <li>○照明用人体センサーの導入</li> <li>○蛍光灯安定器のインバータ化</li> </ul>	40% ~30% 25~30%
その他	デマンド監視装置の導入・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デマンドの可視化により、目標とする最大使用電力内に抑えるよう、節電に努める。</li> <li>○警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施し、最大使用電力を抑制する。</li> </ul>	

※ 経済産業省「冬季の節電メニュー」等を基に長野県が作成。

※ 各々の建物の利用状況や設備内容によって効果は異なる場合があります。